

平成18年3月19日に旭川市勤労者福祉総合センターで道民カレッジ連携講座「スピードメモ法入門講座」を開催いたしました。

2月9日から12日に、第15回旭川生涯学習フェア「まなびピアあさひかわ」が旭川市民文化会館で行われ、旭川地域生涯学習インストラクターの会として参加しました。チラシを作成して100枚配付しました。

2月13日に教育委員会へチラシ600枚を持参して、図書館、公民館へお願いして配付してもらいました。

受講申込者は15名おりましたが、当日の出席者は13名で出席率はよい方だと思います。

受講者は道民カレッジ受講生が4人参加しましたが、千歳市、江別市からも参加者がおりました。「道民カレッジ手帳」の「教養コース」に4単位が認定されます。

平成16年10月17日に「速記入門講座」を開催したときには4名の出席でしたが、「スピードメモ法入門講座」の方が受講申込者も出席しやすかったようです。一般世間では「速記」は難しい、敷居が高い、と思われているようです。

「スピードメモ法入門講座」のテキストとして「スピードメモ法 概要」を作成しました。

「スピードメモ法入門講座」を行う場合には、早い時期からテキスト作成作業から行います。テキストは受講者が講習終了後に自宅で学習できるように作成します。

講習ではテキストを使用しながら、学習のポイントを説明していきます。

テキストの内容は

I. 「速記」の歴史について

II. 中根式速記法

III. スピードメモ法

1. 原則

2. 平仮名の読み方

[ウ列、オ列]

[イ列、エ列]

[イ列、エ列の短音]

[ア列]

3. 詰まった音

4. ツキイチクン

[詰まった場合]

1) ツキイチクン区別法

2) ツキイチクン符号省略

3) イ列とエ列の短音符号省略

5. 一般略法

小文字省略

下の場合

上の場合

6. 特別省略法

大文字と小文字使用

小文字だけ（小文字を並べる）

小文字だけ（小文字を上下に並べる）

A 4 版で11ページのテキストです。

「スピードメモ法入門講座」の展開方法における留意点は、下記の6点です。

- ① 講習は双方向で行います。
- ② 各項目ごとに板書しながら説明します。
- ③ 各項目ごとに質問時間を設けます。
- ④ 質問がなければ次へ進みます。
- ⑤ 重要なことは、単なる説明だけではなく、受講者に頭の中で考えさせます。
- ⑥ スピードメモ法と中根式速記法が連携していることも板書で説明します。

「速記」の歴史について、中根式速記法、スピードメモ法については、テキストに書いてありますので、簡単に説明します。受講受付から講座が始まるまで多少の時間がありますので、受講者はテキストに目をとおしております。

受講者が一番知りたいことは「速記史」ではなく、スピードメモ法の内容です。

1. 原則

片仮名……今までどおりに読みます。

平仮名……普通の長音と拗音とに読みます。

2. 平仮名の読み方

ここで、重要なことは片仮名と平仮名を読み分けることを説明します。

ウ列、オ列は「ウ」をつけて長く読むことには抵抗がなかったようです。この説明は簡単に説明して、黒板に文例を書いていきます。もちろんテキストには文例を掲載しておりますから、説明を聞いていけばわかります。おもむむろに幾つか文例を書いて受講者に読んでもらいます。2～3人から答えが返ってきます。

そして質問があるかどうかを確認後、次の説明へ移ります。

イ列の場合は、「シュウマイ」は「しうまい」と書くことを説明します。キュウは「キウ」などで、説明していきませんが、エ列の場合は旧仮名遣いでは「てふてふ」と書いて「チヨウヨウ」と読んでいたことを説明しますが、ここでは旧仮名遣いがわからない方がおりますので、そのまま覚えるように説明します。

イ列、エ列の短音の説明では、平仮名の下に曲線を入れて区別するように説明しますが、「ニュ、ニョ、ヒュ、ヒョ」などは、頻度が低いことを説明します。「ニュウ、ニユウ」の方が頻度が高いという説明をします。

「ア列」の場合は「〇ャ」をつけるとだけ説明します。鮭はサケではなくシャケと発音

するはずです。また「ア列」は、頭を切りかえて、そのまま覚えるように説明します。黒板には「社長（さて）、部長（ブて）、課長（カて）、町長（てて）、市長（シて）」をスピードメモ法で書けばこのようになると説明します。課長は「カチョウ」で4文字、「カて」で2文字になるので、4文字を2文字で書けることを説明します。「町長」は、「チョウヨウ」で6文字ですが、「てて」で2文字で済みます、と説明すれば書く文字数が少なくなったことを実感できます。

ここで、中根式の基本文字でカ行を書きます。そして大カギをつけて「キャ、キュウ、クウ、キョウ、コウ」と読むことを説明します。中根式とスピードメモ法が連携している説明もつけ加えて説明します。

3. 詰まった音

つまり詰音を説明する場合には、「ッ」を省略するために、1音目を小さく書く説明をします。黒板の文例では「ケッカ」「カッケ」「カケ」を書きます。

4. ツキイチクン

ツキイチクンを説明する場合には、漢字を音読みにすると2音目には、「ツキイチクンウ」がつくことを説明します。ほとんどの受講者は気がつきません。「中根式では大正3年5月からインツクキ法として速記法則が確立しております」という説明をします。大抵の受講者は驚きます。

ツキイチクンの説明では、特に時間をかけます。

短文で「学校の運動会は土曜日の予定」とスピードメモ法で黒板に書きます。テキストに掲載している文例です。既に「詰音、ツキイチクン」を説明しておりますので、受講者はわかります。おもむろに、「北海道ではなじみがありませんが」と言いながら「東海道新幹線」とスピードメモ法で書きます。何人かはちゃんと「東海道新幹線」と読みます。次に「北海道」とスピードメモ法で書くと、地元ですからすぐに反応があります。

カ
ホ ど

「社会、社格、車間」を黒板に書きます。ここでは3とおりに読めますとつけ加えますが、2つぐらいは回答がありますが、私が3つ目を言います。このときに、「あとから区別の仕方を説明します」と言って「ツキイチクン区別法」へ入ります。

「ツキイチクン区別法」では、「ツキイチクン」の符号の覚え方を説明します。「／＼一|へ・」を並べると「今」という字になります。

同時に、ツキイチクンの符号は、片仮名を書いて、どの一部分を使用しているか説明するとわかりやすいと思います。

ツキイチクンの説明が終わってちょうど2時間になり、ここで10分間の休憩に入ります。

3時の休憩に入る前に、平成16年10月17日の「中根式速記入門講座」で使用した「中根式速記法入門テキスト」を無償で配付します。そのときに、「中根式速記法に興味がある

方はご参考までにどうぞ」と一言つけ加えます。受講者は必ず受け取ります。

最初の2時間は、スピードメモ法だけの説明を行います。途中で中根式速記法の力行と大カギをつけて長拗音の簡単な説明をしておきます。休憩に入る前に「中根式速記入門講座テキスト」を配付すれば、受講者は休憩時間に目をとおせます。

「中根式速記入門講座テキスト」の内容は、

生涯学習における速記教育について

アマチュア速記について

速記と年齢／速記学習年齢

「速記」って速く書けるの？

〈参考〉速記文字はこんなに簡単!!

「速記」のスピード

「速記」の歴史について

中根式の歴史（中根式の概要、参考文献・大正3年5月10日の大阪毎日新聞記事、中根式と早稲田式の基本文字及び省略文例）

「速記」は難しくありませんか？

「速記体系」はどうなっているの？

1. 符号の形象

2. 符号の方角（ほうかく）

3. 清音記法

です。速記に関する詳細が12ページ、中根式の基本文字が6ページありますので、速記に関する説明が省けます。

これだけで、スピードメモ法と中根式速記法の宣伝ができます。

休憩後の後半で30分間ぐらい、遊びの時間をつくります。

○（場合）、×（組合せ）、＝（日本）などと板書して受講者に考えさせます。実際に速記で使用されている略字を書きます。答えが出てきませんので、○○式では○○と使用しております、と説明します。この手の略字を幾つか板書します。

「彼は になった」というという文を板書します。この空白の部分をなんという言葉が入っているのか質問しますが、ほとんど回答がありません。文字がどこへ行ったのかわからないから「行方不明」と読みます。××式では、使用しております。私も実際に二回使用しましたが、読めませんでした、というオチを入れます。

スピードメモ法でよく使用する「〒」を黒板へ書きます。すぐに「郵便番号」と回答がありますが、逆に「郵便局」は、どう書きますか、と質問をします。

郵便 郵便局 郵便番号 郵便物 郵政公社

〒 〒け 〒バ 〒ブ 〒こさ

数字の書き方で「午前、午後、パーセント」等々を行います。受講者から元号の書き方についての質問が出てきます。元号はスピードメモ法を使用するよりも、アルファベットで書いた方が早いのでM、T、S、Hで指導します。

この時間は速記に興味を持たせるために中根康雄著「絶妙な速メモ（速記）の技術」から大いに引用します。

受講者には、参考程度として「一般略法」「特別省略法」まで説明しますが、目的は「入門講座」ですから、受講者には「ツキイチクン」までを覚えるように指導します。

また、「スピードメモ法」に、この他にもいろいろな書き方があることを一言つけ加えます。

中根正雄編「中根式速記（上）」〈簡易速記法の全科と本格的速記法の初歩〉中根式速記協会（B 5 版 123ページ）というガリ版刷りのテキストがあります。著者は中根康雄先生ですが、関西の簡易速記法講習会用に作成されたスピードメモ法のテキストです。私は昭和48年6月にいただきましたので、発行は昭和44年以降と推測できます。市販の即席速記法、簡易速記法、スピードメモ法へ掲載されていない、中根式関係者でも知らない書き方が掲載されております。

文例、練習問題が豊富に掲載されております。

「スピードメモ法入門講座」では、平仮名の読み方、詰まった音の読み方までの説明だけでも十分ですが、受講者は物足りなさを感じると思います。スピードメモ法の法則でいご味は「ツキイチクン」です。

我々中根式関係者は速記を学習した当時を思い出してください。基本文字から学習して、「インツクキ法」を学習したときには、速記文字がなめらかに書けるように感じたはずです。「インツクキ法」を使用することによって、上段、下段、最大線、等々の速記法則を運用してきました。

残った時間は質問時間にします。

中根正雄著「即席速記法」中根式即席早書法出版社 昭和42年5月20日発行

中根康雄著「絶妙な速メモ（速記）の技術」明日香出版社
の2冊を持参して現物を紹介します。

大体、最前列に座っている方は、興味がありますので、「絶妙な速メモ（速記）の技術」を見にきます。

テキストの最終ページには、中根康雄著「絶妙な速メモ（速記）の技術」の発行日、値段、出版社の住所、電話、FAX、図書コード（ISBN4-7569-0909-4 C2036 ¥1300E）を入れます。書店に置いてなければ注文できます。

講習会のアンケートは受付のときに渡します。アンケートの最後に「スピードメモ法入門講座の継続受講を希望される方は講師へ直接お申込ください」と入れます。切り取り線の下に講師の電話番号も入れておきます。

スピードメモ法入門講座の12名の出席者（男性7名、女性5名）からアンケートをいただきました。年代別には、40代1名、50代5名、60代6名です。

アンケートの質問を集計しました。

この講座を何で知りましたか（複数回答）

- ① こうほうあさひかわ…… 7名
- ② 旭川新聞…… 1名
- ③ 道民カレッジガイドブック…… 3名
- ④ その他（図書館の棚）…… 1名

本日の講座により「スピードメモ法入門講座」について参考になりましたか。

- ① もともと関心を持っていたが、参考になった。…… 7名
- ② 今までは、余り関心がなかったが、参考になった。…… 5名

「スピードメモ法入門講座」の受講を継続したいと思いますか。

- ① 継続したい。…… 5名
- ② 継続しない。…… 1名
- ③ 検討中…… 5名

その他、お気づきの点がありましたら、ご記入をお願いいたします。

- 本日の講座を参考に勤務先の今後の記録メモの参考にします。
- 練習問題や練習方法を簡単に教えていただければ。
- 発想の転換をしてみることに気がついた。
- 大変勉強になりました。
- とても参考になった。もっと練習する時間が欲しかったです。（スピードメモ法書いてありました。）
- 初級用で、指導していただきたかった。でもきょうのは初級用だったんですね。段々専門的になって頭に入らなくなった。
- きょう学んだことを、自己学習して、できるだけ身につけたいと思う。

速記を学びたい、スピードメモ法を学びたいという気持ちがあっても、書店に本を置いてない、図書館にも本がないと思われるようです。

速記の通信教育が行われていることを知りません。

受講者が共通している点は、日常生活のメモ、勤務先の会議（録音をしております）で、メモを取りたいという声を聞きました。

まだアマチュアの世界では「速記を学びたい」という方がおります。

参加した受講者には会社の会議や電話などでメモに使用したいという潜在意識があります。アマチュアの世界ではスピードメモ法、手書き速記の使い道が残されております。

我々速記関係者は、プロ速記者の養成ではなく、アマチュアに速記を学習する機会を与えていくことも必要です。